

## 鉢物栽培Ⅱ

講師名	三好 智子	実務経験等	高校教諭としての実務経験を活かし、岩手県の主要な鉢花品目の良品生産に必要な生理・生態や基本的栽培技術を理解するための講義を担当している。
-----	-------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・花き	必修	2	通年	60	4
使用教科書・副教材	教科書: 農学基礎セミナー 草花栽培の基礎 樋口春三 (社)農文協 参考書: 令和2年度岩手県花き栽培技術指針 岩手県					
授業の目的	岩手県の主要な鉢花品目の良品生産に必要な生理・生態や基本的栽培技術を品目ごとに理解する。					
授業の到達目標	岩手県の主要な鉢物品目(シクラメン、鉢物リンドウなど)、花壇苗(パンジーなど)の生理・生態に基づいた基本的栽培技術を理解する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月13日 4月30日	花壇苗の栽培技術①	マリーゴールド等春夏苗の栽培技術(かん水、肥培管理など)について学習する。	4	講義	
5月11日 5月21日	シクラメンの栽培技術①	シクラメンの栽培技術(肥培管理、かん水など)について学習する。	4	講義	
6月1日 6月4日	花壇苗の栽培技術②	マリーゴールド等春夏苗の栽培技術(かん水、肥培管理など)について学習する。	4	講義	
6月22日	シクラメンの栽培技術②	シクラメンの栽培技術(鉢上げ、温度、光など)について学習する。	2	講義	
7月16日 8月19日	鉢物リンドウの栽培技術①	鉢物リンドウの栽培技術(肥培管理など)について学習する。	4	講義	
8月24日 8月26日	鉢物リンドウの栽培技術②	鉢物リンドウの栽培技術(摘心、摘蕾など)について学習する。	4	講義	
8月28日	生育調節と開花調節の技術	植物ホルモン、DIF、光調節フィルムなどによる生育制御技術、日長処理等による開花調節技術について学習する。	2	講義	
9月7日 9月10日	前期のまとめ	前期の学習内容について復習する。	4	講義	
9月12日	岩手県の鉢花の実際	いわてフラワーコンテスト等を見学し、岩手県の鉢花生産の実際について学習する。	4	事例研究	
9月29日	シクラメンの栽培技術③	シクラメンの栽培技術(鉢上げ、葉組みなど)について学習する。	2	講義	
9月30日	岩手県の鉢物生産概要	岩手県の鉢物生産概要について学習する。	2	講義	
10月2日	大型施設による鉢物生産の実際	・大型施設による大規模鉢物生産の経営事例を学ぶ。 ・事例研究で学んだ事項の整理と復習。	4	事例研究	レポート
11月5日 11月9日	・花き産業総合認証(MPS) ・花き流通におけるICT利用 ・鉢物の流通	・MPSへの取り組みを学ぶ。 ・ICTを取り入れた取引や生産について学ぶ。	4	講義	
11月17日	花壇苗の栽培技術③	パンジー、ハボタン等秋苗の栽培技術(かん水、肥培管理など)について学習する。	4	講義	
11月20日	花壇苗の栽培技術④	パンジー、ハボタン等秋苗の栽培技術(温度、光など)について学習する。	2	講義	
11月25日	シクラメンの栽培技術④	シクラメンの試験事例を通じて品質向上のための栽培技術を学習する。	2	講義	
11月27日	鉢物の出荷調整について	シクラメン、花壇苗などの出荷調整について学習する。	4	講義	
12月4日	鉢物栽培のまとめ①	鉢物栽培技術について品目ごとの復習を行い、理解を深める。	2	講義	
1月22日	鉢物栽培のまとめ②	鉢物栽培技術について品目ごとの復習を行い、理解を深める。	2	講義	
合計			60	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

前期と後期に筆記試験を実施する。

評価割合は、筆記試験、レポート70%、平常点30%(学習態度、出席状況)として行う。

履修に当たっての留意点等

授業は教科書に沿って行うが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。授業形態は主に板書をして行う。ほ場作業の進捗や花きの生育状況により、専攻実習と入れ替わる場合がある。

